

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

配布 6名

回答 6名

※1 HUGとは保護者の皆様がスマートフォンから確認できる連絡ツールのこと。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・用途（制作活動、集団遊び、学習など）によって部屋を使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・基準より多く配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		66%	34%	・トイレの段差（入口）についてはすで工夫しており利用しているお子様が安全に行き来できるように職員が見守りを行っております。床については課題がありますので検討していきたいと思えます。 ・外玄関にスロープ、手すりがあります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	66%	17%	17%	・振り返りを翌日の朝礼で必ず行いますが、記録の残し方に課題があります。また、PDCAサイクルの意味を全職員が理解し意識して、行動できるように研修等を通して共通理解を図っていきたくと思っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	17%	17%	未記入16% ・今年度からの開所の為、毎年取り組み職員間で共有し、業務改善に努めたいと思えます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	33%	33%	17%	未記入17% ・みらさぼネットワーク株式会社のHPにて公表しております。また、保護者の皆様にはHUGにて公表を行っております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		33%	33%	未記入34% ・第三者委員会は今年度2回行い、外部から委員会に参加していただき、ご意見をいただく機会を設けました。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・毎月の事業所内研修の参加（全職員）、必要に応じて県や市の研修への参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・保護者ニーズを取り入れながら職員間で話し合い、担当者が計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17%	83%		・個別支援計画をもとに、タイムタイマーや写真、絵カードなどのツールを使用し、発達段階や特性に合わせた支援をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・活動担当者が主として計画し、他職員も共有しています。 ・年間行事とは別にイベント担当を決めて活動を検討し、子どもたちに提供しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・子どもたちが学校や幼稚園に通っている間の午前中は、様々な活動プログラムのアイデアを持ち寄り、職員間で検討したり、その準備をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%		17%	・子どもの様子から、課題を共有することはできていますが、支援法を共有することが難しい時があります。子どもとのかかわり方はそれぞれ違いますが、支援については同じ方向を向いて行動できるように些細なことでも伝え合うことを大切にしています。 ・平日できない活動を時間いっぱい作り、長期休みならではの活動を楽しんでいます。 ・長期休みは外出活動又は1日2回の活動を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・利用しているお子様の状況を把握し、職員間で検討しながら活動プログラムを計画しています。また、その日の状況やお子様の様子に合わせて臨機応変に対応し、安心して参加できる活動を提供しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・朝礼（昼礼）で1日の流れを確認、支援する担当を決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	66%	34%		・その日のうちに振り返りを行うことは送迎業務等があり難しいが、翌日の朝礼で支援内容の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%		・気付いたことや振り返りはケア記録を活用し、支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%			未記入17% ・6ヶ月に一度モニタリングを行い、支援の振り返りや経過を確認し、モニタリング表計画書を保護者の皆様に確認していただいています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	66%	34%		・創作活動やスキルトレーニング等、複数の活動を組み合わせさせて計画を立てています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%			未記入17% ・児童発達支援管理責任者が参加し、事業所内の会議等でその内容を職員に伝達しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	83%		17%	・下校時刻表をお預かりしたり、送迎時に利用しているお客様の様子をお聞きし、その日の心身の状態を把握するよう努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		33%	60%	未記入17% ・対象となる利用児童はおりません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	33%	50%	17%	・必要に応じて行っているが、保護者からの聞き取りが主となっています。今年度は児発管、保育士が利用児童の幼稚園に行き、その姿を見学させて頂きました。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		33%	67%	※今年度、対象児童はおりませんでした。 ・他事業所へ移行する際、必要に応じて書類・情報等の提供を行うことについてはその状況になりましたら、保護者の皆様に声を掛けたいと思います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	50%	17%	・県立療育センターの発達障害支援研修にZOOMで参加し、支援法を学びました。今後、助言等が受けられるような連携を検討していきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		50%	50%	・今までも交流はありませんでしたが、今後検討していきます。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	34%	33%	33%	・自立支援協議会に今年度2回参加し、子どもに関わる他の職種の方と貴重な意見交換をさせて頂きました。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%		17%	・送迎時や電話での聞き取りにより、利用児の様子についてお伺いしています。 ・6ヶ月に1回モニタリングを設け、保護者の方と支援法や子どもの様子について共通理解を図っています。 ・また、HUG※1を活用し、日々の活動の様子をお伝えしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		50%	50%	・必要に応じて、行っていききたいと思います。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・契約時に説明をしております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%		17%	・相談があった時は、必要に応じて面談の機会を設け、ゆっくりお話をする機会を作り対応しています。些細なことでも気になることがありましたら、声をかけて頂きたいと思います。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		50%	33%	未記入17% ・保護者会等の予定がないので、子どもたちの活動の中でイベントに参加してもらい交流できるような機会を検討していきたいと思います。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	66%		34%	・苦情につながらないように気をつけていますが、苦情を受けた際は解決責任者である管理者に報告し、対応を検討する体制を整えております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・月1回のこころだよりで療育の様子や支援の目的をお伝えしています。（HUGの活用）	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			・利用者関係の持ち出しは禁止となっており、職員間で個人情報の管理を徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・迎えに来ていただいた際、様子を見ていただいたり、HUGのサービス提供記録を通して利用した時の様子が伝わりやすいよう写真を添えて伝えています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		66%	34%	・就労A型事業所の方や、ご家族の方には活動イベント行事で交流を図りました。子どもたちの日々の活動をお知らせする機会を今後も作っていききたいと思います。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%		50%	・職員間では事業所内研修の中で各種マニュアルの確認と実際の動きを確認しています。また、マニュアルをもとに定期的な周知が今後も必要であると感じます。 ・マニュアルを保護者に周知する場や機会を設けていきたいと思っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・今年度は2回の避難訓練を実施しました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・職員会議で虐待防止研修を実施しました。また、外部講師の研修をオンラインで受講しました。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%		33%	17%	・現在、身体拘束を行うことはありません。 可能性がある利用者に対しては、支援計画に記載しご家族に同意を得る必要があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	66%		34%	・現在、対象となる児童はおりません。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	66%		34%	・ヒヤリハットの報告は日常の会話の中ではありますが、記録を残し検討することに結びついていない為、改善の必要があります。		